

平仮名を使用する（すなわち、したがって、または、あるいは、さらに、すでに、たとえば、……のように）。

・生物名、単位など

動物・植物の和名は片仮名書きとし、学名はイタリック、単位はメートル法とする。

・数字

アラビア数字を原則とし、半角とする（例：1998年7月）。漢数字の使用が好ましいものは例外とする（例：数千万、一部事務組合など）。

・注の付け方

注は、原則として最後に一括して付ける。

（注番号の付け方）

①地の文：では、公共政策はどのようにつくればよいのでしょうか¹⁾。

②引用文：「地域調査の課題は市民を教育することである」²⁾。

上記の1)、2) は右括弧の肩ツキ。

・謝辞をつける場合は、本文末尾、注記の前におく。

・文献の引用

各分野の代表例にならうこと。ただし、欧文雑誌名と欧文単行本名はイタリック指定とする。

・図表

図（写真を含む）、表は、必ずA4で別紙とし、表題にはそれぞれ通し番号を付し、タイトルをつける（例えば、図1、表1のように）。また、図表の挿入箇所も明示する。

・別刷

学会員の場合、筆者は1論文につき合計100部の別刷を無料で受け取ることができる。

100部を超えて別刷りを必要とするときは、超過分について実費を徴収する。

・校正

論文の校正は、原則として第1校のみ筆者が行い、第2校以降は編集委員会の責任において行うこととする。筆者はゲラ到着後1週間以内に編集委員会に返送しなければならない。

附 則

本規程は、1998（平成10）年10月7日から施行する。

附 則

本規程は、1999（平成11）年9月22日から施行する。

附 則

本規程は、2001（平成13）年3月28日から施行する。

附 則

本規程は、2003（平成15）年11月19日から施行する。

附 則

本規程は、2004（平成16）年5月19日から施行する。

附 則

本規程は、2005（平成17）年6月1日から施行する。

附 則

本規程は、2006（平成18）年5月17日から施行する。